

令和2年度 鳥獣対策・ジビエ振興室 施策体系及び予算

産業の生産性が高い県づくり

野生鳥獣被害対策の推進		(単位:千円)	元年度	対前年度比
518,217 千円 〔 364,515 千円 〕		免許事務費 3,700	3,703	99.9%
		狩猟免許試験・狩猟者登録経費		
		狩猟免許講習の実施 4,628	4,691	98.7%
		新規狩猟免許受験者及び免許更新に係る講習		
狩猟対策事業	28,547 千円 〔 19,276 千円 〕	県営射撃場運営事業 17,233	7,999	215.4%
		県営射撃場の整備		
		安全狩猟実技訓練講習 2,986	2,883	103.6%
		第一種銃猟免許取得者に対する実技準連講習(委託)		
		鳥獣保護管理員の任用 20,892	20,892	100.0%
		地域における鳥獣の保護及び管理業務補助の担い手を任用		
		鳥獣保護区の指定管理 1,790	1,967	91.0%
		鳥獣保護のための保護区の設定・解除 案内板等の設置		
鳥獣保護管理事業	50,238 千円 〔 53,956 千円 〕	野生傷病鳥獣救護対策 2,104	2,123	99.1%
		傷病鳥獣(希少種等)の救護 高病原性鳥インフルエンザ対策		
		特定鳥獣保護管理事業 25,452	28,974	87.8%
		特定鳥獣の生息状況調査 保護管理計画策定		
		(国庫) (15,386)	(17,192)	
		(一財) (10,066)	(11,782)	
		野生鳥獣総合管理対策事業 245,351	248,121	98.9%
		野生鳥獣被害防除対策促進に地域で取り組む市町村等に支援		
		(国庫) (202,611)	(214,471)	
		(一財他) (42,740)	(33,650)	
野生鳥獣総合管理対策事業	283,434 千円 〔 274,326 千円 〕	野生鳥獣捕獲・管理事業 11,716	10,000	117.2%
		先進的技術を活用したニホンジカの効果的な捕獲の実施及び事業実施計画策定のための調査・評価		
		(国庫) (8,358)	(5,000)	
		(一財) (3,358)	(5,000)	
		野生鳥獣保護管理体制整備事業 26,367	16,205	162.7%
		野生鳥獣保護管理に係る人材養成		
		(国庫) (21,578)	(11,010)	
		(一財他) (4,789)	(5,195)	
信州ジビエ総合振興対策事業	11,384 千円 〔 16,957 千円 〕	信州ジビエ総合振興対策事業 11,384	16,957	67.1%
		信州ジビエ生産体制整備 信州ジビエ流通体制整備 信州ジビエ活用促進事業		
		(国庫) (9,087)	(12,270)	
		(一財他) (2,297)	(9,456)	
豚コレラ緊急対策事業	144,614 千円 〔 90,690 千円 〕	野生イノシシ拡散防止事業 137,101	90,690	151.2%
		(国庫) (68,550)		
		(一財) (68,551)	(90,690)	
		交差汚染防止事業 7,513	0	

※〔 〕内は元年度予算

CSF（豚熱）緊急対策事業費の概要

鳥獣対策・ジビエ振興室

1 概要

野生イノシシへのCSF（豚熱）感染が2019年7月に木曾地域で最初に確認されて以降、8月には南信州地域、松本地域といった中南信地域へと、また2020年1月には、上田地域、佐久地域で陽性イノシシが確認されていることから、家畜防疫対策の一環として野生イノシシにおけるCSF（豚熱）ウイルスの拡散防止対策を強化している。

野生イノシシは、CSFウイルスに感染する唯一の野生鳥獣であり、ウイルスを体内で増殖させながら、自由に移動することによって感染地域を急速に拡大させるため、地形を利用して設定した防衛ラインにより移動を抑制し、感染イノシシを封じ込めることにより、未感染地域へのウイルス拡散を防止することが、養豚場でのウイルス侵入防止対策を補完する形で感染リスクの低減を図る最も効果的な対策であると考えられる。

また、有害捕獲等のイノシシ捕獲活動は、捕獲従事者がウイルスを保有するイノシシと直接的に接触する可能性が高く、交差汚染によるウイルス拡散のおそれがあることから、従事者自ら消毒を徹底的に実施し、ウイルス拡散を防止する。

2 事業主体

長野県

3 予算額

144,614千円（国庫：68,550千円、一般財源：76,064千円）

4 事業内容

（単位：千円）

事業区分	説 明	R2	R1 (8月専決)	対前年度 増減
(1) 野生イノシシ 拡散防止事業	<p>野生イノシシのCSF対策で地形的に重要な場所(以下、防衛ライン)において、イノシシに対する捕獲圧による封じ込め(捕獲活動)を行う。</p> <p>○捕獲活動費 137,101千円 ・防衛ライン上の猟友会支部による捕獲活動に係る経費 〔報償費:112,700千円、需用費:24,401千円〕</p>	137,101	90,690	46,411
(2) ⑧ 交差汚染防止事業	<p>市町村の実施する有害鳥獣捕獲において、消毒による交差汚染防止対策を講じ、CSFウイルスの感染地域拡大を防ぐ。</p> <p>・有害鳥獣捕獲従事者へ配布する消毒資材の購入費 〔需用費:7,513千円〕</p>	7,513	0	7,513
計		144,614	90,690	53,924